

平成 21 年度大磯町教育委員会第 12 回定例会会議録

1. 日 時 平成 22 年 3 月 24 日 (水)
開会時間 午前 9 時 00 分
閉会時間 午前 11 時 30 分
2. 場 所 大磯町役場本庁舎 4 階第 1 会議室
3. 出席者 大 橋 伸 明 委員長
岩 井 喜久枝 委員長職務代理者
竹 内 清 委員
曾根田 眞 二 委員
福 島 睦 恵 教育長
二挺木 洋 二 子ども育成課長
林 正 人 子ども育成課主幹
大 隅 則 久 子ども育成課子育て支援室長
和 田 勝 巳 生涯学習課長
山 口 章 子 生涯学習課図書館主幹
佐 川 和 裕 生涯学習課郷土資料館主幹
山 口 信 彦 子ども育成課主査
4. 傍聴者 1 名
5. 前回会議録等の承認
6. 教育長報告
7. 付議事項
議案第 33 号 平成 22 年度教育委員会基本方針について
議案第 34 号 中地区教科用図書採択協議会の設置について
議案第 35 号 大磯町立幼稚園の管理運営に関する規則の一部を改正する規則について
議案第 36 号 大磯町郷土資料館の休館日の変更について
議案第 37 号 県費負担教職員の任免に係る内申について
議案第 38 号 教育委員会事務局職員及び教育施設等の職員の人事異動について
8. 報告事項
報告事項第 1 号 平成 22 年大磯町議会 3 月定例会について
報告事項第 2 号 大磯町次世代育成支援地域行動計画（後期計画）【案】について
報告事項第 3 号 大磯町立図書館の蔵書点検による休館について
9. その他

(開 会)

出席委員が5名で定足数に達しており、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第2項の規定により定例会は成立し、大磯町教育委員会会議規則第14条及び第19条の規定により傍聴を許可します。暫時休憩ののち傍聴人が入室し再開した。

(前回会議録等の承認)

委員長より前回会議録の項目を読み上げ、出席委員全員の承認を得る。

教育長報告

教育長) 私からは、平成22年2月定例会が開催されました平成22年2月17日から本日までの教育委員会諸行事等について報告させていただきます。2月17日、定例会終了後、午後から教育委員及び事務局職員により、月京幼稚園を訪問し、保育状況の視察、先生方との意見交換をいたしました。2月19日からは、3月議会が始まり、2月26日に総括質疑、3月2日、3日に一般質問、3月4日に予算説明会、3月11日予算特別委員会、教育委員会関係が行われ、3月18日に最終日を迎え、平成22年度予算案などが可決されました。議会の概要につきましては、後ほど事務局から報告いたします。保育園、各幼稚園、小、中学校、生沢分校の卒園式、卒業式が行われましたが、お忙しい中、ご出席をいただきありがとうございました。なお、入園式及び入学式につきましては、別紙の予定表のとおりです。2月20日、大磯町史ダイジェスト版刊行特別講座「遺跡でたどる大磯の歴史」を開催し、30名の参加がありました。2月23日から4月4日まで、郷土資料館におきまして、西小磯在住の研師で人間国宝であります永山光幹氏の企画展を開催しております。なお、永山氏につきましては3月22日、90歳でお亡くなりになりました。企画展期間中、永山先生の弟子の方々による日本刀研磨の実演会を14回開催します。3月4日から各町立幼稚園の入園説明会を開催いたしました。3月5日、社会教育委員会議を開催し、平成22年度社会教育事業別予算要求等についてを議題といたしました。3月8日、16日、23日に、生涯学習人材登録者による生涯学習講座を開催しました。3回の講座に延べ33名の参加がありました。3月12日、教育委員会表彰式を開催し、今年度は4名の方に感謝状を贈呈いたしました。表彰式のあと教育委員会第2回臨時会を開催し規則改正、教育委員会基本方針等の審議をいたしました。3月13日、図書館運営を委託しております有隣堂による講演会「白洲正子という生き方」を開催いたしました。参加者は80名でした。3月15日、次世代育成支援対策地域協議会を開催し、「大磯町次世代育成支援地域行動計画後期計画(案)」について最終的な審議をしていただきました。当計画につきましては、後ほど事務局から報告いたします。その他の諸行事につきましては執行報告表のとおりであります。また、今後の予定につきましては、執行予定表をご参照ください。以上でございます。

議案第33号 平成22年度教育委員会基本方針について

書記が議案を朗読し、教育長から提案理由の説明を行った。

委員長) この議案につきましては3月12日に開催いたしました第2回臨時会において協議されておりますが、竹内委員、曾根田委員におかれましては初めてとなりますので、事務局からの説明はいかがいたしましょうか。前回からの変更の説明でよろしいでしょうか。

竹内委員) それでよろしいです。

曾根田委員) それでよろしいです。

委員長) 前回の変更説明でよろしいということなので、事務局から修正の説明をお願いいたします。

子ども育成課主幹) まず、前回からの修正部分ということでございますが、その前に昨日、経営者会がございまして、そこで学校長の方に基本方針を示した中で2点程訂正をとということでしたので、その箇所を先にご説明いたします。1ページをご覧ください。義務教育重点施策の(1)の「定着と活用力の育成に努めます。」の部分ですが「活用する力」に訂正をお願いいたします。活用力という1つの単語にいたしますと能力を表す単語になりまして誤解がありますので訂正をお願いいたします。5ページになりますが用語の解説でALTとございますが、その後ろに括弧をつけていただいて「Assistant Language Teacher」と付け加えていただくようお願いいたします。基本方針につきましては、本日までに、何度かご意見をいただき、加除訂正等を行なってまいりました。また、先日の臨時会ではそれまでのご意見等を踏まえ協議をしていただき、大筋についてはご了解が得られたかと考えております。今、委員長からの提案を受け、他の委員の方の了解も得られましたので、本日は、臨時会でのご指摘を受けた部分について訂正・追加したところについてご説明申し上げます。訂正・追加箇所といたしましては、1ページ「義務教育の基本方針の重点施策」の(1)の最後の部分に「活用力の育成に努めます」を追加してございます。次に、同じく1ページの重点施策の(5)として、「食育」に関するものを追加してございます。以下、番号が1つずつずれております。次に、2ページに行きまして、「子育て支援の基本方針の重点施策の2番と3ページの3番」でございますが、こちらは、具体的な保育サービスの内容を2番で明記し、食育の推進について別立てで3番に明記した形になってございます。次に、5番では、具体的な待機児童対策を盛り込んでございます。9番では、先日の議会承認を受け、次年度の具体的な取り組みとして民間誘致に係る事務を進めるという文言にしてございます。さらに、10番として、子ども手当の支給に係る準備を行うことを追加してございます。次に4ページになりますが、「図書館の基本方針の重点施策」でございますが、1番の大磯町立図書館サービス計画の年度が2008から2011となっておりましたが、2008から2010に訂正させていただきました。次に、同じく重点施策の5番ですが、文中に、前回ご指摘があった関係で、ブックトークを追加してございます。最後に、5ページをご覧ください。郷土資料館の重点施策の下に、そこまでの文面の中で、専門用語や一般的にわかりにくい用語の解説として6つの用語の解説を載せてございます。以上が前回お示しした内容からの追加・訂正でございます。追加・訂正箇所も含め、22年度の基本方針についてご承認いただけますようお願いいたします。

(質疑応答)

教育長) 1ページと3ページの関係ですが、前回のご指摘を受けて、食育を推進するという文言を盛り込みました。1ページの(5)の「各学校における「食育」」には鍵括弧がついておりますので3ページの「町立幼稚園・保育園における食育」にも鍵括弧をつけてはどうでしょうか。

子ども育成課主幹) そのように訂正させていただきます。

岩井委員) 1ページの義務教育の重点施策の先程の部分で、前は「図ります」となっていたものが「育成に努めます」となりましたが変更の理由はどうしてでしょうか。

子ども育成課主幹) 前後の文章との関係もございまして、活用する力を育成するということで積極的に推進するという意味で変更いたしました。

曾根田委員) 情報として待機児童の関係で朝のニュースで東京の千代田区の待機児童が唯一ゼロだったそうですが、待機児童を出したということで、国と自治体としっかり連携していかないと町だけでは厳しいという意見があったので国と連携していけたら良いのかなと思いました。

子育て支援室長) 待機児童対策につきましては、全国的にかなり多くなって来ている状態ですが、その中で大磯町は2園、保育園がございまして定員がそれぞれ90名ということで、3万人規模では定員が少ないということで定員増を考えていかなければならないので、今回は空き店舗等の活用をやっていかなければいけないということで方針の方に載せさせていただいております。

曾根田委員) 今、待機児童は何人くらいですか。

子育て支援室長) 先日の時点では14名です。昨年度は4月の時点で6名ということで倍に増加してございます。

子ども育成課長) 将来的にはサンキッズ大磯の増築を考えてございます。それでは遅い対応になりますので、今年度、分園ということで空き店舗とか民間をお借りして増やしていこうと考えています。

岩井委員) 2ページの研究所の5番にスクールアドバイザーという言葉が出てきますが、これも用語の解説に入れていただけたらと思います。それと子育て支援の重点施策の子育て支援総合センターの開設年月を加えて置いたらどうでしょうか。

子ども育成課主幹) 今、ご指摘のあった部分は追加させていただきたいと思います。

曾根田委員) 図書館のところで先生方、保護者の方に子ども達に読んでほしい本とか、子ども達が読みたい本とかのアンケートはされたことがありますでしょうか。

図書館主幹) そのようなアンケートは特段したことがないのですが、図書館といたしましては重点施策の(5)にありますように学校図書館との連携をとりまして本の充実を図っているところでございます。子どもの読書につきましてはブックトークというのがございまして、担当の方が学校に出向きまして本を紹介するというのをやってございます。

曾根田委員) 今後、読ませたい本、読みたい本のアンケートを実施するのも一つの方法かと思えます。

委員長) 機構改革が行われて子育て支援室が出来て1年が経ちますが円滑運営が出来たと思えますか。

子育て支援室長) 国からも幼保一元化という動きがありまして、福祉と教育との連携はやりやすくなりましたし、良かったと思えます。あと1ついえるのは逆に組織上、母子保健が離れたということがありますので、連携が取りづらくなならないように連携を密にしていかなければいけないと思えます。

委員長) これからは就学前の教育は重要ですのでよろしくお願いいたします。

子ども育成課主幹) いくつか訂正や追加がございましたので、それを含めて原案とお
りではないのですが、ご承認いただけたらと思います。

委員長) 質疑を打ち切り、討論を省略し採決に入ります。議案第 33 号については現
案からいくつかの訂正や追加をした形でご異議ありませんでしょうか。

各委員) 異議なし。

委員長) 異議なしの声がありましたので、議案第 33 号 平成 22 年度教育委員会基本
方針については承認いたします。

議案第 34 号 中地区教科用図書採択協議会の設置について

書記が議案を朗読し、教育長から提案理由の説明を行った。

子ども育成主幹) 説明資料 1 をご覧ください。始めに設置理由でございますが、平成
23 年度使用教科用図書採択に関し、大磯町及び二宮町で中地区教科用図書採択
協議会を設置し、調査・研究し、協議を行なうために設置するものでございま
す。次に、資料 2 で要綱の内容につきましてご説明させていただきます。今年
度の設置要綱につきましては、平成 20 年度の採択替え、つまりこの年は、21・
22 年度小学校使用の教科用図書の採択のための協議会の設置要綱と同様の形
でございます。改めて簡単に、ご説明いたします。まず、第 1 条でございます
が、協議会設置に対しての目的を規程するものです。次に、第 2 条をご覧くだ
さい。協議会の組織を規定するもので、委員といたしまして第 (1) 号から第
(6) 号に掲げる職にある者で組織するものでございます。人数につきましては
、教育委員及び町立小学校長は全員ということになります。従って、教育委員
は、大磯・二宮で 10 名、今回は小学校教科用図書の採択となりますので、町
立小学校長が 5 名ということになります。次の第 3 条・第 4 条は、協議会の会長・
副会長について、第 5 条は、協議会の会議について、第 6 条では、実際に教科
用図書を調査研究する調査員についての条文でございます。その他、第 7 条で
庶務関係、第 8 条で経費の関係、第 9 条で委員の方々については公正な立場の
者を選出するという条文、第 10 条が委任に関する条文、最後に附則という形に
なっております。続きまして、平成 23 年度使用小学校教科用図書の採択ま
での流れにつきましてご説明申し上げます。資料 3 をご覧ください。まず、本
日、採択協議会の設置についてご承認頂ければ、4 月に調査員の推薦を行いま
す。その後、5 月の中旬に第 1 回目の中地区教科用図書採択協議会を開催する
予定となっております。同じく 5 月の中旬になりますが、教育委員会定例会
において、平成 23 年度使用教科用図書の採択方針が決定されます。その後、
委嘱された調査員による調査活動が開始され、何回かの調査委員会が開催され
た後、調査報告書が作成されます。また、6 月に入りまして、教科書展示会が
ございます。これは、実際に採択の候補となるいわゆる検定本の展示会でござ
います。その後、7 月に入りまして、第 2 回目の採択協議会及び中地区教育委員
会連絡会が開催され、23 年度使用の教科用図書について 1 種目ごとに採択の
方向性を打ち出していきます。その後、7 月の教育委員会定例会において、最
終的に大磯町教育委員会として、1 種目ごとに教科用図書を採択することにな
ります。以上のような採択までの流れを踏まえた中で、今回の中地区教科用図
書採択協議会の設置について、ご承認いただけますようお願いいたします。以
上でございます。

(質疑応答)

岩井委員) 調査員というのは協議会のメンバー以外の方でしょうか。

子ども育成課主幹) 調査員というのは要綱にもございますとおり、協議会の会長が委嘱をした方が調査活動に入るので、秦野市、平塚市、伊勢原市、大磯町、二宮町の中から選出することになってございます。

教育長) 今度の採択につきましては、小学校になりますので、調査員は小学校の教員にお願いすることになります。採択協議会のメンバーとは別になります。

竹内委員) 確認ですが、組織のところに中学校の校長とかでてきますが、実際の採択に関わるのは今回は、中学校関係は含まれないのでしょうか。

子ども育成課主幹) 3号から5号までに中学校がでてきますが、もう少し詳しく説明いたします。中学校長代表1名というのは大磯町、二宮町の4校の中から代表者1名を選びます。今回は小学校の教科書の採択となりますが中学校校長の代表が1名入ります。小学校・中学校教員代表につきましては両町で小学校の教員代表が1名ずつ、中学校教員代表は両町で1名の計3名を選びます。保護者代表につきましても両町で小学校の代表が1名ずつ、中学校代表は両町で1名の計3名を選びます。来年度は中学校の採択になりますのでこれが逆になります。

竹内委員) 協議会を設置することには、重要性・中立性から意義はないのですが3ページの確認をさせてください。第9条で「教科用図書の採択に直接利害関係を有しない公正な立場の者をもって充てる。」とありますが、この時期、教科書関係の出版社が自分のところの教科書のPRのために教育委員会に活動することが行われていたのが今までだと思います。具体的にそういった業者が学校の方に行っているいろいろな活動をされるということに対して、公正な立場を担保するために、どのような指導を教育委員会としてされているかお伺いしたい。

子ども育成課主幹) 国あるいは県を通じて公正な立場を保つようさまざまな通知が来ます。それを受けて教育委員会としても各学校長宛てに安易に接触をしないように、また、誤解を招く行動を慎むように指導しております。また、調査員が誰なのか、誰が委員なのかということは採択が終わるまで非公開でやっております。

竹内委員) 後になって問題が起こらないようにご指導をお願いしたいと思います。

委員長) 平成22年度は中学校の教科用図書について行いまして、平成22年度は小学校ということで1年生から6年生まででボリュームが増えますが公正にやっていきたいと思っております。

委員長) 質疑を打ち切り、討論を省略し採決に入ります。議案第34号については原案のとおりでご異議ありませんでしょうか。

各委員) 異議なし。

委員長) 異議なしの声がありましたので、議案第34号 中地区教科用図書採択協議会の設置については原案どおり承認いたします。

議案第35号 大磯町立幼稚園の管理運営に関する規則の一部を改正する規則について

書記が議案を朗読し、教育長から提案理由の説明を行った。

子育て支援室長) 資料1をご覧ください。改正理由につきましては平成22年3月に月京幼稚園が移転し、4月からたかとり幼稚園が開園するので名称変更するとともに平成20年の幼稚園教育要領の改正に伴い、本規則も改正する必要があります。

るためです。3月26日をもって完成、引き渡しの予定でいます。昨年の12月議会でたかとり幼稚園の設置条例は承認されております。名称の変更ということで月京幼稚園をたかとり幼稚園に変更するものでございます。あと幼稚園教育要領を平成20年に変更するものでございます。

(質疑応答)

岩井委員) 月京幼稚園が移転し、たかとり幼稚園と公募で名称を変更いたしました。伺っていると、まだこのことをご存じでない町民の方も多いようです。町民の方に知っていただけるように周知もしっかりとお願いしたいと思います。

子育て支援室長) 広報、ホームページ等で名称が決定した際も載せてございますし、今月末に出る広報にも載せる予定でいます。

曾根田委員) 17条の3に「幼稚園の運営の状況について園長は評価を行い、その結果を公表するものとする。」とありますが、公表されたことはありますか。

子育て支援室長) 公表できる形で作っております。

子ども育成課主幹) 学校にも同じような評価がございまして、事務局といたしましても特に幼稚園の方からは保護者からの意見もいただいて、PTAの役員等に出して終わっている形ですので、それではしっかりとした評価にはならないだろうということで、内部で評価を受けた後に第三者から評価を受けて、公表するという形を考えていきたいということで検討しております。

曾根田委員) 無理やり公表する必要はないと思います。第三者から評価していただいて改善していけば良いと思います。

委員長) 騒音とか駐車のマナー等で、苦情が来た場合にPTAと関連してどのように対策を立てていかれるのでしょうか。

子育て支援室長) 車の送迎方法等につきましては、PTAの役員の方を中心になって作っていただいております。体調が悪いとか特別な事情があって車で送迎する場合には、前もって園に連絡してもらおうなどして許可しております。送迎のルール等につきましては、周知をしっかりとしていきたいと思います。

委員長) 新しい幼稚園ができて近隣の方が良かったと思い、あたたかい気持ちで迎え入れてくれればと思います。

竹内委員) 地元に住んでいるものとしても、車での送迎は一部の地域を除いてしてはいけないことになっているようですけれども、車で送迎する場合には交通事故防止と騒音対策の周知をしていただきたいと思います。

委員長) 質疑を打ち切り、討論を省略し採決に入ります。議案第35号については原案のとおりでご異議ありませんでしょうか。

各委員) 異議なし。

委員長) 異議なしの声がありましたので、議案第35号 大磯町立幼稚園の管理運営に関する規則の一部を改正する規則については原案どおり承認いたします。

議案第36号 大磯町郷土資料館の休館日の変更について

書記が議案を朗読し、教育長から提案理由の説明を行った。

郷土資料館主幹) 平成22年度2回目の企画展といたしまして中学校の学習支援を大きな目的としました「学習参考資料展」の開催に伴いまして5月1日の休館日を開館いたしまして、5月7日を休館日に変更するものでございます。毎月1日は館内整理日で休館日としてございます。館内整理日は館内の展示資料の整

理、展示設備の清掃等の作業を行っております。5月1日は土曜日であることとゴールデンウィークと重なるということで、この日を閉館いたしましてゴールデンウィークが終わりました5月7日を館内整理日に変更させていただきます。展示の内容につきましては学習参考資料展「みんなで調べた 今年の大磯の春花」となっておりまして、内容は中学校1年理科「植物の世界」の学習内容に合わせた展示を行うものでございます。町内におけるタンポポや春の草花の分布状況を現在調査中でありまして、その結果を展示に反映して中学校1年生に興味をもってもらえる内容を考えてございます。住民参加型の調査「みんなで町の自然を調べよう 桜・タンポポ・春の花」を一般住民の方の参加を募ってその結果を展示紹介していきたいと思っております。展示期間は4月25日から6月6日まででゴールデンウィークの集客を狙っています。

(質疑応答)

竹内委員) 概要のところの中1の理科という話でしたが、周知の方法で町内の中学校や近隣市町村の教育委員や中学校への周知のお考えがありましたら、教えていただきたいと思っております。

郷土資料館主幹) 今回は学校の学習支援ということで積極的に学校の方にもチラシ等を配ったり、働き掛けをしていきたいと考えております。周辺地域の学校への周知も行っていきたいと思っております。

曾根田委員) 小学校へもお願いします。

郷土資料館主幹) 今回のテーマは中学校の理科ですけれども、一般の方や小学生にも興味を持っていただける内容だと思いますので、小学校にも周知していきたいと考えております。

委員長) 多彩な企画展ありがとうございます。学校の周りに生えている草花しか時間内では調べられないと思っております。住民参加型ということで大磯町内のことをいろいろと調査できるので子どもたちにとっても素晴らしい内容だと思います。学校の先生方に周知をして授業で使っていただければと思います。質疑を打ち切り、討論を省略し採決に入ります。議案第28号については原案のとおりで異議ありませんでしょうか。

各委員) 異議なし。

委員長) 異議なしの声がありましたので、議案第36号 大磯町郷土資料館の休館日の変更については原案どおり承認いたします。

議案第37号 県費負担教職員の任免に係る内申について

議案第38号 教育委員会事務局職員及び教育施設等の職員の人事異動について

委員長) 議案第37号及び議案第38号につきましては、両議案とも人事案件となります。よって、議案の性格上、秘密会とさせていただきたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

各委員) 異議なし。

委員長) ご了承いただきましたので、これより秘密会とします。

(秘密会)

休憩

委員長) 休憩を閉じて再開します。ただいま秘密会において、議案第37号、県費負担教職員の任免に係る内申について、議案第38号、教育委員会事務局職員及

び教育施設等の職員の人事異動については原案どおり承認いたします。

報告事項第1号 平成22年大磯町議会3月定例会について

子ども育成課長) 平成22年大磯町議会3月定例会は、2月19日から3月18日の28日間の会期で行われました。日程に従い報告させていただきます。2月19日、3月議会初日に平成22年度一般会計予算ほか5特別会計予算など23件を上程しました。教育委員会関係では、議案第2号「大磯町横溝千鶴子記念子育て支援総合センター条例」、大磯・小磯幼稚園統合関係の議案第5号「大磯町立の中学校等の設置に関する条例の一部を改正する条例」、小中学校の電子黒板購入に伴う議案第6号「財産の取得について」、議案第7号、8号「教育委員会委員の任命について」、第9号平成21年度一般会計補正予算、議案第14号平成22年度一般会計予算についてでございます。3月18日の最終日に、議案第21号「(仮称)月京幼稚園新築工事請負変更契約の締結について」、議案第22号「国府中学校校舎耐震改修工事請負契約変更の締結について」の2件を追加上程しました。議案第2号、第5号については、2月24日に開催される福祉文教常任委員会に議案の審査を付託されました。議案第6号、電子黒板の財産取得について、議案第7号、議案第8号教育委員会委員の任命については、全員賛成で承認されました。また、12月議会に上程し、福祉文教常任委員会に付託され、継続審議となっていました生涯学習館、図書館、郷土資料館の使用料改正条例については、委員長から12月24日の委員会審査報告後、全体の採決の結果、賛成多数で原案が承認されました。議案第9号平成21年度一般会計補正予算、教育委員会関係についてですが、歳出については国府中学校、新幼稚園執行残を減額いたしました。子ども手当につきましては支給は平成22年度になりますが準備予算を新規に計上いたしました。国の交付金で大型補正がございましたので、修繕関係のものを大磯小学校のブロック、大磯中学校のフェンス、小磯幼稚園のブロック、図書館サッシという工事関係の補正を計上してございます。人件費の関係で教育支援員、給食調理員臨時賃金を増額計上いたしました。また、諸事情により年度内に事業完了ができないため、翌年度に繰越することを議会に承認をもらう明許繰越事業として9本、教育委員会として提案してございます。子ども手当関係が年度をまたがるということで計上してございます。子育て支援センター整備事業につきましては、工事が約1ヶ月遅れるということで計上してございます。小学校、中学校、幼稚園太陽光発電整備工事について納品が難しいということで計上してございます。先程の小学校、幼稚園のフェンス関係も計上してございます。賛成多数で補正予算につきましては承認をいただいております。議案第14号から第19号の平成22年度当初予算については、町長から、提案理由に代え、平成22年度の町政運営の基本方針及び主要施策について、施政方針を示しました。教育委員会の平成22年度予算は、教育費で総額6億6021万9千円、児童福祉費で6億2389万5千円を予算計上しております。次に福祉文教常任委員会ですが2月24日9時から、議案第2号「大磯町横溝千鶴子記念子育て支援総合センター条例」、小磯幼稚園と大磯幼稚園を統合する関係の議案第5号「大磯町立の中学校等の設置に関する条例の一部を改正する条例」について審査が行われました。議案第2号「大磯町横溝千鶴子記念子育て支援総合センター条例」については、既に福祉文教常任委員会には、条例骨子案について説明していたので、その後の変更

点について説明いたしました。質疑に入り、採決の結果全員賛成で可決されました。議案第5号「大磯町立の中学校等の設置に関する条例の一部を改正する条例」については、平成21年12月議会において、上程しましたが、条例改正の時期、町民への説明不足、保育料補助の不確定などの反対理由で、不承認となりました。そこで、改めて、統合の理由、経過、教育委員会の方針を説明いたしました。前回条例案と相違するということで12月議案では、23年の3月に小磯幼稚園廃止と上程していましたが、3ヶ月遅れたということで23年4月には無理だろうということで1年後にして24年に変更して説明させていただいております。統合年度変更理由、民間幼稚園誘致のスケジュール変更等の説明をしました。質疑に入り、討論が行われたが、継続審査が3名、賛成が2名となり、採決まで至らず、延会となりました。2月26日に再度福祉文教常任委員会が開催され、採決の結果、継続審査3名、賛成2名で議案第5号は継続審査となりました。2月26日、初日の町長施政方針をうけて総括質疑が4名の議員から出され、教育委員会関係は2名からありました。坂田議員からは「子ども手当への支給の詳細」「保育園の待機児童に関する事業」「民間施設の拡充」「小学校1,2年生の35人学級編成」についてのご質問がございました。鈴木議員からは「特定保育事業の内容」「保育料の見直し」「子育て相談業務の見直し」「子ども手当への支給」「教材費などの負担軽減」「教育支援員の配置」「国府中学校グラウンド改修、国府小学校プール整備年度」について質問がありまして、町長からそれぞれ回答いたしました。回答内容につきましましては配布資料をご覧ください。続きまして一般質問ですが、3月2日、3日の2日間行われまして、議員13名、34問出されました。教育委員会関係は、5名、8問の質問がありました。まず、1ページ目ですが竹内議員からたかとり幼稚園の安全確保(通園路等)はということで、教育長から現在通園路、自家用車での送迎方法についてPTAを中心に見直し作業をしている。幼稚園前面道路については歩道を新設すると答弁してございます。2ページの清水弘子議員からは学校施設整備についてご質問がございました。国府小学校の雨漏り等、カーペット、オープン教室については教育長から外壁、屋上防水、など修繕し現在雨漏りはしていない。カーペットはスチーム洗浄、部分取り替えを実施。オープン教室はロッカーなどにより工夫している。今後大規模な改修時期に合わせ検討していきたいと回答してございます。大磯小学校グラウンドの改修につきましましては教育長から23年度設計、24年度工事を考えていると回答してございます。少人数学級を小1から拡大を、解決のための対応についてという質問に対しては教育長から小1プロブレムの解消ため少人数指導等の加配教員をあて、小学校1年生で実施している。平成22年度は、小学校2年まで拡大する。また、幼少連携の研究も進めていると回答してございます。続きまして4ページになります。浅輪いつ子議員から「子どもたちの、未来を拓くまち、おおいそ」を実現するためにどう取り組むかということで保育所の待機児について、幼保一元化、病児保育、児童虐待についてご質問がございまして町長から平成21年度から子育て支援担当を教育委員会に一元化し体制を強化した。また、次世代育成支援地域行動計画後期計画を策定し、「こどもたちの未来をひらくまち、おおいそ」を実現したいという答弁をしてございます。また、教育長からは待機児童対策については、平成22年4月に10人を超える状況。対策としては、特定保育事業や民間保育園の分園を促進していくと回答してございます。幼保一元化については、たかとり幼稚園、国府保育園の連携を積極的に進めていく。病児保育については、利用者のニーズを捉え、検討していく。児童虐待につい

ては、平成 21 年度 14 件の通告、対応については、児童相談所、保健福祉事務所、学校、警察等と連携、情報の共有化を図っていると答弁してございます。2 日目にはいりまして、3 月 3 日、6 ページになりますが、鈴木京子議員から保育園の待機児童対策について教育長から浅輪議員と同様な答弁してございます。8 ページになります。百瀬恵美子議員からの自殺対策、学校での相談支援体制については教育長から相談、支援体制については、教育研究所のスクールアドバイザーや訪問相談員、各中学校ではスクールカウンセラー、心の教室相談員、を配置し子どもたちの様々な悩みや相談に対応している。また、小学校では、命の大切さを実感させる研究、取り組みをしていると答弁してございます。2 点目の小学校での英語活動の取り組みの質問にたいしては教育長から平成 23 年度からの小学校 5、6 年生の外国語活動については、新学習指導要領の完全実施に向けて準備を進めている。教員配置についても中核教員を配置する。AET も引き続き派遣する。中学校教員による出前授業や中学校英語教諭の配置も検討していくと答弁してございます。3 点目の安心して子育てできる環境の整備については、教育長から次世代育成支援地域行動計画前期計画で掲げた目標は概ね達成しているが、待機児童対策等新たな課題、安心して遊ばせる場所、子どもが安全に通える道路などの課題も残っている。経済的な負担については、子ども手当制度が創設されるが今後も国の動向を見極めていく。保育ニーズの拡大は保育園の民営化により拡大してきたが、特定保育の実施や病児、病後児保育の検討をしていく。子育て支援については、行政だけでなく様々な角度から子育てを支えていく施策を掲げていきたいと答弁してございます。3 月 4 日には予算特別委員会が開かれ、本会議場において各担当から平成 22 年度予算について説明を行ってございます。3 月 8 日から、所属ごとに予算審議が行われまして、教育委員会関係は 3 月 11 日から始まりまして、述べ 15 名の委員から 38 問の質問あり、質疑応答については、省略させていただきます。予算特別委員会では賛成多数で承認されました。3 月 18 日、最終日に各委員会付託された陳情、議案について委員長から審査結果を報告されました。議案第 2 号「大磯町横溝千鶴子記念子育て支援総合センター条例」について、福祉文教常任委員会委員長から、常任委員会として全員賛成の報告後、承認してございます。幼稚園統合関係の議案第 5 号「大磯町立の中学校等の設置に関する条例の一部を改正する条例」については、委員長から継続審査の結果報告、この報告をうけ、継続審査について異議が出され、採決すべきという異議が認められ、原案の採決に入り、賛成多数で承認されました。平成 22 年度予算についても賛成多数で承認されました。また、追加議案である議案第 21 号「(仮称) 月京幼稚園新築工事請負変更契約の締結について」議案第 22 号「国府中学校校舎耐震改修工事請負契約変更の締結について」の 2 件についても、賛成多数で承認されました。以上で平成 22 年大磯町議会 3 月定例会報告を終わります。

報告事項第 2 号 大磯町次世代育成支援地域行動計画(後期計画)【案】について

子育て支援室長) 次世代育成支援地域行動計画につきましては、1 月に開催された第 10 回定例会に素案を提出させていただき、ご意見をいただきました。その後、地域協議会を 2 回開催し、3 月にはパブリックコメントを募集し、今回の(案)となっております。計画案をご覧ください。5 ページが序論という形になっております。計画策定の背景及び趣旨、その次のページから計画期間、計画の

位置づけ、計画策定の体制が5ページから8ページに謳われています。6ページをご覧ください。計画の期間としては前期計画が平成17年度から平成21年度となっており、平成22年度から平成26年度までの5年間の計画となっております。続きまして、11ページから子ども・子育て家庭を取り巻く現状となっております。大磯町状況等をデータとして掲載しております。平成20年度に実施したアンケート結果のまとめ、前期計画の達成状況が記載されております。この中で23ページをご覧ください。アンケート結果のまとめということで平成20年度に実施したアンケートは就学前児童調査として対象者1,000人に実施し、回収数は561人となっております。就学児童調査は対象者1,000人に実施し、回収数491人となっております。子育てで困ることの1位が「安心して遊ばせられる場所がないこと」ということで、2位が「子どもが犯罪の被害にあわないか心配なこと」、3位として「子どもが安全に通れる道路がないこと」が調査結果となっております。その後は個々のアンケート結果となっておりますのでご覧ください。35ページをご覧ください。前期計画における5年間でめざす取り組みの達成状況となります。全部で24事業あります。◎が達成、○がおおむね達成、△が一部実施、×が未実施となっております。43ページからは計画の基本的な考え方で計画の基本理念、基本方針、基本目標、対象者等の将来推計となっております。この部分は前期計画から変更はしてございません。52ページ以降の行動計画の部分を今回見直していることとなります。この行動計画の見方として51ページをご覧ください。節ごとにそれぞれ施策の体系、施策の方向といった形で示されえておまして最後に行動計画の内容が一覧となっております。内容のところで新規事業については「新規」、この5年間で拡充していくものについては「拡充」、継続しておこなっていくものについては「継続」という区分をしてございます。その次が事業名ということでテーマが書かれており、その次に内容となっております。52ページ以降の行動計画については後期計画を策定するに当たって、第10回の時も見直しの柱というものを掲げさせていただきましたが、その柱を中心に説明していきたいと思っております。1つ目として、待機児童対策を柱としております。54ページをご覧ください。前回の素案の時は待機児童対策という形では示してなく、今回改めて待機児童対策ということを大きな施策として取り出してございます。その中で保育所の定員増、幼稚園の預かり保育の実施といった事業を掲載させていただいております。保育所の定員増のところでは前期計画にも5年間のめざす取り組みという欄がございましたが、後期計画でも拡充、新規の事業には載せさせていただいております。空き店舗等を活用した保育園の分園を推進しますといった取り組みをここで挙げさせていただいております。2つ目として子育て支援センターの関係がございます。54ページから55ページにかけて出ております。アンケートの中にもありましたように安心して遊ばせる場所が少ないとかありましたが、子育て支援センターが4月中に完成し、5月から開設します。西部地区には子育て支援総合センターがありますので、この計画にはつどいの広場の充実ということで東部地区につどいの広場の設置を目指すということを載せさせていただいております。3つ目としてファミリーサポートセンターも子育て支援センター内に併設されますのでその内容も記載させていただいております。4つ目として56ページに幼稚園、保育所の一元化の検討であったり、幼稚園の民営化の検討を載せさせていただいております。5つ目として食育の関係を61ページに食育の推進ということで掲載させていただいております。大磯町では、平成21年3月に食育推進計画を策定しております。それに基づいて地産地消や米飯給

食の推進も掲載しております。6つ目として安心して遊べる場所、安心して預けられる場所ということで63ページから記載してございます。交通量の多い道路の整備であったりとか、交通安全教育であったりとか、公園遊具の安全性の確保といった内容をこちらで記載してございます。7点目として私立幼稚園の就園費ということで65ページに小磯幼稚園の統廃合により私立幼稚園を誘致する訳ですが、私立幼稚園が町内にできることによって町単独の補助を創設するといった内容を掲載してございます。8つ目として就学前教育として70ページから記載してあります。今までは幼稚園の内容が多かったのですが、ここに保育園による幼児教育の推進を載せさせていただいております。あと特別支援教育につきましてもここで掲載してございます。9つ目として82ページから児童虐待の関係で特に要保護ネットワーク事業等を記載しております。10点目は障害児施策ということで特別支援教育の充実であったり、発達障害の早期発見、障害児のネットワークということで掲載してございます。89ページからは計画の目標が記載されております。こちらにつきましては神奈川県に報告した内容が掲載されております。93ページからは計画の推進と進行管理が掲載されております。前回の定例会の時に岩井委員からお話のあった子宮頸がんの関係ですが、担当の方に話をさせていただいて、全国でやっている自治体が少ないということで、やるとなると予算を考えなければいけないということと出産の関係になるので今回の計画には反映されていない形になります。簡単に説明させていただきましたが以上でおわります。

(質疑応答)

曾根田委員) これは(案)ですけれども(案)はいつとれますか。

子育て支援室長) 策定の案を作るにあたりまして、地域協議会メンバーは元保育園の園長や主任児童委員や幼稚園のPTA会長や町民の公募委員や保育園のPTA会長で大本の案を作らせていただいて、最終的には今月中に町長の決裁を受けて策定となります。

岩井委員) 55ページの子育て支援短期事業の所で病気になった場合等とありますが出産の場合はどう考えますか。

子育て支援室長) こちらの事業は最終的にはもう少し調整が必要だと思いますが、想定しているのはステパノ学園さんとの連携という形になりますので子育て支援短期事業は保護者が病気になった場合等ですので、出産等もある程度視野に入れて考えていきたいと思っております。

竹内委員) 24ページのアンケート結果で子どもが安心して遊ばせる場所等がないということで、その具体的部分として61ページから町民の声として拾いあげていただいている訳ですが、特に安心して遊ばせる場所がないとか少ないというのが現状じゃないかと思っております。例えば、公園とかにしても非常に経費のかかる部分なので大事にされているのはわかりますが、どんどん公園を作っていく訳にもいかないので地道に少しずつ取り組んでいただいてこのニーズに答えていくようにしていただきたいという意見ですのでよろしく願いいたします。

委員長) この素晴らしい案の実現に向けて取り組んでいただきたいと思っております。

報告事項第3号 大磯町立図書館の蔵書点検による休館について

図書館主幹) 平成22年度の蔵書点検のため、休館を致しますので、その内容をご報告

します。休館日につきましては、4月19日月曜のための休館に引き続き、23日金曜日までを休館し、実質4日間を蔵書点検にあて、翌土曜日から開館するものです。休館の根拠法令は、裏面に記載しております、大磯町立図書館の設置、管理等に関する条例第5条第3号4月1日から4月末日までの間において、10日以内とされているものです。休館内容は、平成22年度の蔵書点検を行うものですが、本館と分館で所蔵しています、図書資料のほかCDなどの視聴覚資料、計23万4千点の点検を行います。休館の周知方法としましては、広報おおいそ4月号「図書館・郷土資料館だより」への掲載、館内・館外の掲示を行っているほか、県内公共図書館へは県立図書館を通じて通知をいたします。なお、この度の蔵書点検につきましては、本年1月から窓口業務委託を受託し、22年度も委託を予定しております、株式会社有隣堂の従事者と職員を主として実施するものです。

その他

子ども育成課主幹) 先週の3月19日に平塚中地区教科書を考える会の代表であります、梶谷氏より教科書採択に対するご依頼がございました。ご依頼の趣旨につきましては、教育委員が就任してわずかであるため今回の定例会ではなく次回定例会で審議とさせていただきます。この日程での審議についてはご依頼者にもご了解を得ております。

子ども育成課長) 次回の定例会につきましては4月21日9時から役場第1会議室で行います。午後からはたかとり幼稚園を訪問いたしますのでよろしくお願いいたします。

(閉会)

会議の経過を記載し、その相違ないことを証しここに署名する。

平成 22 年 4 月 21 日

委 員 長

委員長職務代理者

委 員

委 員
